



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第59号

発行 幌延町議会
編集 議会報発行特別委員会
電話 01632-5-1111
FAX 01632-5-2971

第9回
定例議会
12月20日
～21日

第9回幌延町議会定例会

例会が議員全員出席のもと12月20日開会され、行政報告のあと2氏が一般質問を行った。

議事案件は、決議案1件、議案18件、陳情1件、意見案2件が可決された。

お	定例会の議案審議	2
も	地域の課題をとらえて一般質問	3
な	各常任委員会報告	4
内	臨時会の議案審議	4
容	サークル紹介	5
	議会の動き	5
	編集にあたって	5

議案審議

◎幌延町民憲章の制定について

町内各所に設置する憲章板の字体は教科書体で制定する事とした。

◎定住自立圏の形成に関する協定の締結について

管内の市町村がお互いに地域の特質を生かし役割を分担し活性化を図るため稚内市を中心に連携の締結をするもので去る1月20日稚内市で調印式を行った。

◎議案第12～18号補正予算

(一般会計総括)

問 人件費について、行財政改革の一旦として特別職の給与の改定、手当の特別加算の廃止等、今後検討する考えはないか。

答 町財政の状況を見ながら考えていきたい。

問 国の補正予算が報道され地域における「きめ細かな交付金」また「住民生活に光をそそぐ交付金」合わせて6千6百30万円が交付さ

れる予定であるが町としてどのような用途を考えているか。

答 消費者行政や弱者対策自立支援等があるが、今後、各課に要望を出させる予定だ。

問 緊急雇用創出事業交付金約4百60万円の具体的な使途はどう考えているか。

答 交付税の中に積算されており町の補正財源として使われている。

◎陳情第1号

議員の定数削減を求める陳情について

昨年11月の第8回臨時議会に上程され、総務文教常任委員会に付託されていた本件は特例の全員協議で審議され一定の結論を得たとして不採択とする委員長報告がなされた。

採決の結果委員長報告に反対者1名、賛成者8名となり、幌延市街地区連合町内会より提出された陳情書は不採択となった。

反対者の発言理由としては昨年9月定例議会において現行定数10名から9名と

した決定は大変重いものと理解しその責任も強く感じているが、我々議員は住民の代表であり住民の付託を受けてその職責を果たしている。今回の市街地区町内会会長名で提出された陳情書は住民の代表機関である議会として真摯に受け止めるべきと反対意見を述べた。

賛成者の発言理由として過去2年半に渡り協議し、全員一致ではないが議会としての結論が出されており更にこの場で審議すべきではないと判断すると述べた。

◎意見案1～2号

第1号、環太平洋戦略経済連携協定(TPP)への参加に反対する意見書を、政府の関係大臣に提出した。

第2号、北海道開発局の存続要望に関する意見書の提出については低迷している北海道経済、遅れている社会基盤整備等から存続していくことが必要不可欠であり関係大臣に意見書を提出した。